

地域母子保健研修会
「新任期におさえた母子保健の基礎知識」日程表

- < 対 象 > 母子保健業務に従事する新任期の保健師・助産師・看護師・保育士等
 < 期 間 > 2026/5/27～2026/5/29
 < 定 員 > 会場 60 名（※後日オンデマンド配信）
 < 目 的 > 乳幼児期の発育・発達の基本的知識とともに育児上の問題やその支援について学び乳幼児健診や家庭訪問等の日々の業務に活かします。また、プレコンセプションケアの基本的な知識を得ることを目的とします。

	日時	内容	講師	所属
5/27 (水)	9:00～9:20	グループワーク		
	9:20～	オリエンテーション		
	9:30～10:50	運動発達・精神発達の見立てと指導（仮）	高木 一江	横浜リハビリテーションクリニック ミューザ川崎こどもクリニック
	10:50～11:00	休憩		
	11:00～12:20	子どもとの良い関係を育てる保護者支援（仮）		
	12:20～12:35	質疑応答		
	12:35～13:25	昼食		
	13:25～14:45	アレルギー疾患とスキンケア	大矢 幸弘	名古屋市立大学大学院 医学研究科環境労働衛生学分野特任教授
	14:45～14:55	質疑応答		
5/28 (木)	9:15～10:35	関わりの難しい親子の対応	三浦 幸子	元心身障害児総合医療療育センター 通園科長・臨床心理科長（臨床心理士・公認心理師）
	10:35～10:45	質疑応答		
	10:45～10:55	休憩		
	10:55～12:15	新生児聴覚スクリーニングと乳幼児健診の重要性・小児難聴	有本 友季子	千葉県こども病院耳鼻咽喉科部長
	12:15～12:25	質疑応答		
	12:25～13:15	昼食		
	13:15～14:35	子ども虐待予防に向けた保健師の家庭訪問による支援	鈴木 浩子	昭和医科大学保健医療学部看護学科
	14:35～14:45	質疑応答		
	14:45～14:55	休憩		
	14:55～16:15	子ども虐待早期発見と対応、地域と医療の機関連携、多職種連携	小橋 孝介	鶴川市立国保病院 病院長
16:15～16:25	質疑応答			
5/29 (金)	9:15～10:00	グループワーク		
	10:00～10:10	休憩		
	10:10～11:30	乳幼児健診事後指導 心配事に向き合うコミュニケーションスキル	山口 直人	川崎市北部地域療育センター センター長 神奈川県立こども医療センター新生児科
	11:30～11:40	質疑応答		
	11:40～12:30	昼食		
	12:30～13:50	乳幼児期の食生活と食物アレルギー	林 典子	十文字学園女子大学 人間生活学部 健康栄養学科 准教授
	13:50～14:00	質疑応答		
	14:00～14:10	休憩		
	14:10～15:30	包括的セクシャリティ教育 （プレコンセプションケア）	長坂 桂子	京都橋大学 看護学部 准教授・母性看護専門看護師
	15:30～15:40	質疑応答		

地域母子保健研修会
「地域栄養活動～妊産婦から子ども～」日 程 表

- < 対 象 > 管理栄養士・栄養士等
 < 期 間 > 2026/6/11（木）～2026/6/12（金）
 < 定 員 > 会場 50 名 / Web 60 名
 < 目 的 > 栄養、食生活をめぐる地域栄養活動の方向性と栄養士の役割を理解するとともに、
 食育への取り組み・生活習慣病の予防に向けた最新の知識を学びます。

	日時	内容	講師	所属
6/11 (木)	9:30～	オリエンテーション		
	9:40～10:40	偏食外来の実践から学ぶ 乳幼児健診での栄養士の役割 (ZOOM)	大山 牧子	神奈川県立こども医療センター新生児科 偏食外来担当医
	10:40～11:10	質疑応答		
	11:10～11:20	休憩		
	11:20～12:40	DOHaD、胎児期における栄養管理について	中野 有也	昭和医科大学江東豊洲病院 准教授
	12:40～12:50	質疑応答		
	12:50～13:40	昼食		
	13:40～15:00	家庭に向けた食育のすすめと生活習慣病 予防	太田 百合子	東洋大学福祉社会デザイン学部非常勤講師
	15:00～15:10	質疑応答		
6/12 (金)	9:15～10:00	グループワーク		
	10:00～10:10	休憩		
	10:10～11:30	小児の食物アレルギー	関澤 藍	埼玉医科大学病院 栄養部
	11:30～11:40	質疑応答		
	11:40～12:30	昼食		
	12:30～13:50	発達障害児の食事について	藤井 葉子	ひまわり歯科 管理栄養士
	13:50～14:00	質疑応答		
	14:00～14:10	休憩		
	14:10～15:30	口腔機能発達からみる子どもの食行動	元開 富士雄	げんかい歯科医院 院長
	15:30～15:40	質疑応答		

地域母子保研修会
「子ども虐待予防（支援が必要な養育者の理解）」日 程 表

< 対 象 > 母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師・助産師・看護師・保育士・心理士・社会福祉士 等

< 期 間 > 2026/7/1（水）～2026/7/2（木）

< 定 員 > 会場 50 名 / Web 60 名

< 目 的 > 子ども虐待防止から虐待予防へ。母子保健に期待される予防に取り組むために、虐待の発生機序や、虐待が子どもにもたらす影響などを知り、養育者への共感性のある切れ目のない支援について学びを深めます。

日時	内容	講師	所属
7/1 (水)	9:30～	オリエンテーション	
	9:40～11:00	養育者の理解 関係性のとりにくい対象者の支援	山口 貴史 愛育クリニック医療福祉室 臨床心理士 / 公認心理師
	11:00～11:10	質疑応答	
	11:10～11:20	休憩	
	11:20～12:40	虐待の世代間連鎖を予防する保健師活動	鷲山拓男 とよたまこころの診療所長（精神科医） 日本子ども虐待防止学会理事子どもの虐待防止センター評議員
	12:40～12:50	質疑応答	
	12:50～13:40	昼食	
	13:40～15:00	子どもの心の発達から考える虐待予防支援	田中 哲 子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ院長
	15:00～15:10	質疑応答	
	15:10～15:20	休憩	
	15:20～16:10	グループワーク	
7/2 (木)	9:40～11:00	子ども虐待の社会的対応への医療の取り組み	栗原 八千代 聖マリアンナ医科大学小児科助教
	11:00～11:10	質疑応答	
	11:10～11:20	休憩	
	11:20～12:40	周産期医療現場での特定妊婦への支援と地域連携	和田 聡子 大阪母子医療センター看護部
	12:40～12:50	質疑応答	
	12:50～13:40	昼食	
	13:40～15:00	母子保健の果たす役割／最近の動向と子ども虐待予防の支援者に求められる支援技術とは	荒木田 美香子 川崎市立看護大学 副学長・教授
	15:00～15:10	質疑応答	

地域母子保健研修会

「子どもにライフスキルを伝える包括的セクシャリティ教育を学ぶ」日程表

< 対 象 > 母子保健・児童福祉に従事する保健師・助産師・看護師、保育士、社会福祉士、心理士、教員 等

< 期 間 > 2026/8/20～2026/8/21

< 定 員 > 会場 50 名（※後日オンデマンド配信）

< 目 的 > 望まない妊娠や出産、若年妊娠、子どもの性被害、など母子保健や児童福祉で出会う傷ついた若者は包括的性教育を学ぶ機会があったら予防できたのではないかと子どもに健康とウェルビーイング（幸福）を選択する知識とスキルを伝えるために保健、福祉、医療の立場で何ができるかを学びます。

日時	内容	講師	所属
8/20 (木)	10:30～	オリエンテーション	
	10:40～12:00	伊藤 修毅	日本福祉大学 教育・心理学部 教授
	12:00～12:10	質疑応答	
	12:10～13:00	昼食	
	13:00～14:20	渡會 睦子	東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 教授
	14:20～14:30	質疑応答	
	14:30～14:40	休憩	
	14:40～15:30	グループワーク	
	15:30～15:40	まとめ	
8/21 (金)	9:15～10:25	子どもへの性虐待 性被害の医療者の取り組み	栗原八千代 聖マリアンナ医科大学小児科助教
	10:25～10:35	質疑応答	
	10:35～10:45	休憩	
	10:45～12:05	プレコンセプションケア・ 包括的性教育・ユースクリニック	高橋 幸子 埼玉医科大学 産婦人科医師 医療人育成支援センター地域 医学推進センター助教
	12:05～13:00	昼食	
	13:00～14:20	子どもや保護者に包括的性教育を伝えるワ ザ「まなブック」実践解説 1 幼児 ～小学生むけ・保護者むけ	
	14:20～14:30	質疑応答	
	14:30～14:40	休憩	
	14:40～16:00	子どもや保護者に包括的性教育を伝えるワ ザ「まなブック」実践解説 2 中学生～大学生むけ	
	16:00～16:10	質疑応答	

地域母子保健研修会
周産期からの切れ目のない支援力（対象者の理解）日 程 表

< 対 象 > 母子保健、児童福祉に従事する保健師、助産師、看護師、保育士、社会福祉士、心理士 等

< 期 間 > 2026/9/9（水）～2026/9/10（木）

< 定 員 > 会場 50 名 / Web 60 名

< 目 的 > 市町村に子ども家庭センターの設置がすすみ、妊産婦、こどもやその家庭の課題・ニーズを把握し、母子保健・児童福祉それぞれの専門性を活かした支援が求められます。特に周産期に焦点をあてて、個々の家庭の課題・ニーズに応えるため、障害や疾病の理解を深め、アセスメント力を向上するために必要な知識と技術を習得します。

日時	内容	講師	所属
9/9 (水)	9:30～	オリエンテーション	
	9:40～11:00	母子保健施策の動向について	臼井 麗 こども家庭庁 成育局 母子保健課 生殖補助医療 係長
	11:00～11:10	質疑応答	
	11:10～11:20	休憩	
	11:20～12:40	DV の被害母子の心理の理解と支援	森田 展彰 筑波大学医学医療系 准教授
	12:40～12:50	質疑応答	
	12:50～13:40	昼食	
	13:40～15:00	妊娠期からの子育て支援に向けて親の強みを見出すアセスメント	岡本 玲子 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 公衆衛生看護学教室 教授
	15:00～15:10	質疑応答	
	15:10～15:20	休憩	
	15:20～16:10	グループワーク（岡本 玲子先生）	
9/10 (木)	9:40～11:00	逆境的小児期体験（ACE）を緩和する保護的小児期体験（PACEs）に着目した地域における育児支援	大川 聡子 関西医科大学看護学部 教授
	11:00～11:10	質疑応答	
	11:10～11:20	休憩	
	11:20～12:40	子どもの発達障害の理解と支拂：地域で子どもを支えるために	塩川 宏郷 宇都宮市子ども発達センター
	12:40～12:50	質疑応答	
	12:50～13:40	昼食	
	13:40～15:00	妊産婦との面接・コミュニケーションスキル	齊藤 知見 クリニック周産期メンタルヘルス科 副部長
	15:00～15:10	質疑応答	

地域母子保健研修会

「支援が必要な子どもの保健指導（低出生体重児・医ケア・発達障害）」日 程 表

< 対 象 > 母子保健、児童福祉に従事する保健師、助産師、看護師、保育士、社会福祉士、心理士 等

< 期 間 > 2026/9/30（水）～2026/10/1（木）

< 定 員 > 会場 50 名 / Web 60 名

< 目 的 > 小児医療の高度化で、医療依存度の高い子どもの増加や、発達障害など支援を必要とする子どもと家庭が増加しています。多職種による在宅医療や地域支援の必要性について理解を深めます。

日時	内容	講師	所属
9/30 (水)	9:30～	オリエンテーション	
	9:40～11:00	発達障害を持つ子ども達の育ちを支援する (ZOOM)	岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座 教授
	11:00～11:10	質疑応答	
	11:10～11:20	休憩	
	11:20～12:30	医療的ケア児～医療から地域へ～	西角 一恵 鎌倉療養医療センター小さき花の園 看護部長
	12:30～12:40	質疑応答	
	12:40～13:30	昼食	
	13:30～14:40	医療的ケア児の在宅生活を支える	小川 一枝 東京都医療的ケア児支援センター 多摩
	14:40～14:50	質疑応答	
	14:50～15:00	休憩	
	15:00～16:20	極低出生体重児の成長・発達、NICU の現場から	豊島 勝昭 神奈川県立こども医療センター 周産期医療センター長（新生児科部長）
	16:20～16:30	質疑応答	
10/1 (木)	9:40～11:00	医療依存度の高い小児と家族を支える在宅医療	前田 浩利 医療法人財団はるたか会理事長 あおぞら診療所
	11:00～11:10	質疑応答	
	11:10～11:20	休憩	
	11:20～12:40	医ケアが必要な子どもたちの家族支援	三浦 幸子 訪問心理相談室みうら 心身障害児総合医療療育センター（臨床心理士・公認心理師）
	12:40～12:50	質疑応答	
	12:50～13:40	昼食	
	13:40～15:00	幼児期の発達障害	小枝 達也 鳥取県立総合療育センター 院長
	15:00～15:10	質疑応答	

地域母子保健研修会

「多機関・多職種連携、地域で支える要支援家庭」日 程 表

< 対 象 > 母子保健、児童福祉に従事する保健師、助産師、看護師、保育士、社会福祉士、心理士 等

< 期 間 > 2026/12/10（木）～2026/12/11（金）

< 定 員 > 会場 50 名 / Web 60 名

< 目 的 > 児童虐待が起こる背景を理解し、適切な介入を行うリスク判断とともに「ストレングス」に着目した予防的支援を多機関・多職種連携で提供できることを目指し、公衆衛生における専門職の役割や、医療・福祉との連携を学びます。こども家庭センターが様々な体制で設置される中、基礎自治体として求められる役割・地域づくりを考えます。

日時	内容	講師	所属
12/10 (木)	9:30～	オリエンテーション	
	9:40～11:00	児童虐待防止対策について 母子保健・児童福祉行政の最近の動向	笠 真由美 こども家庭庁支援局虐待防止対策課 事例分析指導専門官
	11:00～11:10	質疑応答	
	11:10～11:20	休憩	
	11:20～12:40	母子保健と児童福祉の一体的支援 - 子ども家庭センターが目指す姿	八木安理子 同志社大学 心理学部 客員教授
	12:40～12:50	質疑応答	
	12:50～13:40	昼食	
	13:40～15:00	小児期逆境体験が心身の健康に及ぼす影響	八木 淳子 岩手医科大学 医学部 神経精神科学講座（児童精神医学）教授
	15:00～15:10	質疑応答	
	15:10～15:20	休憩	
	15:20～16:10	グループワーク	
12/11 (金)	9:40～11:00	子ども家庭センターの専門職連携を育む 対話型カンファレンス	阿部 勝広 袖ヶ浦市役所 市民子育て部子育て支援課 上席社会福祉士
	11:00～11:10	質疑応答	
	11:10～11:20	休憩	
	11:20～12:40	親の強みを見出すアセスメント - 家族、地域をまるごと捉える公衆衛生看護技	岡本 玲子 大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 公衆衛生看護学教室 教授
	12:40～12:50	質疑応答	
	12:50～13:40	昼食	
	13:40～15:00	子ども虐待早期発見と対応、地域と医療の機 関連携、多職種連携	溝口 史剛 高崎総合医療センター 小児科 小児救急部長
	15:00～15:10	質疑応答	

地域母子保健研修会

「子ども虐待予防（長期予後改善・世代間連鎖予防を目標にした支援）」日 程 表

< 対 象 > 母子保健、児童福祉に従事する保健師、助産師、看護師、保育士、社会福祉士、心理士 等

< 期 間 > 2027/1/14（木）～2027/1/15（金）

< 定 員 > 会場 50 名 / Web 60 名

< 目 的 > こども虐待による死亡事例等の検証結果第 19 次報告では、心中以外の虐待死のこどもの年齢は「0 歳以下」が 48% と高く、母子保健における早期支援への期待が大きい。しかし未受診妊婦や病院以外での出産など支援につながる以前の課題も大きい。世代間連鎖や逆境的小児期体験など、支援が必要な子どもへのアプローチや親になる準備教育など妊娠前からの支援も視野に母子保健の役割を見つめる機会とします。

	日時	内容	講師	所属
1/14 (木)	9:30～	オリエンテーション		
	9:40～11:00	児童虐待防止対策について 母子保健・児童福祉行政の最近の動向	笠 真由美	こども家庭庁支援局虐待防止対策 課事例分析指導専門官
	11:00～11:10	質疑応答		
	11:10～11:20	休憩		
	11:20～12:40	要対協と母子保健に求められる役割とは（児童相 談所で出会う親子の課題から）	瀧 恵子	静岡県富士健康福祉センタ ー（富士児童相談所）育成課 主幹
	12:40～12:50	質疑応答		
	12:50～13:40	昼食		
	13:40～15:00	虐待死を予防する母子保健の役割	有本 梓	公立大学法人横浜市立大学大学院医学 研究科 地域看護学分野 教授
	15:00～15:10	質疑応答		
1/15 (金)	9:40～11:00	こどもの育ちから考える子ども虐待 (ACEs と PCEs)	小橋 孝介	鴨川市立国保病院 病院 長
	11:00～11:10	質疑応答		
	11:10～11:20	休憩		
	11:20～12:40	出産前からの親準備教育 (夫婦がともに学ぶことの意義)	中村 康香	山形県立保健医療大 保健医療学部 看護学科 教授
	12:40～12:50	質疑応答		
	12:50～13:40	昼食		
	13:40～15:00	ヘンリーケンプに学ぶー子ども虐待予防に取り組 む基本理論	上野 昌江	四天王寺大学看護学 看護学研究科 教 授
	15:00～15:10	休憩		
	15:10～16:00	対象事例別の予防支援（グループワーク）	上野 昌江	四天王寺大学看護学 看護学研究科 教 授
	16:00～16:15	質疑応答・総まとめ		

医療従事者向け研修会
NICU ～周産期看護研修会～ 日 程 表 (CLoCMiP 選択研修)

< 対 象 > 助産師・看護師・保健師等

< 期 間 > 2027年2月3日(水)～2027年2月5日(木)

< 定 員 > 会場 50 名 /Web 60 名

< 目 的 > NICU入院児の特徴、病態生理を知り、先進医療における看護師の役割を理解し、特に早産児に対する看護実践の知識と技術について、NICU入院前から退院、在宅医療への移行等の継続看護などについて学びます。また、心理的危機状態にある新生児の親に対する、チームでの支援等について知り、実践に活かす方法を考える機会とします。

	日時	内容	講師	所属
2/3 (水)	9:20～	オリエンテーション		
	9:30～10:30	デベロップメンタルケア	齋藤香織	神奈川県立こども医療センター NICU 病棟 主任看護師
	10:30～10:40	休憩		
	10:40～11:40	FCC		
	11:40～11:55	質疑応答		
	11:55～12:45	昼食		
	12:45～13:40	グループワーク	齋藤香織	同上
	黒田晶子		愛育病院 NICU 主任看護師	
	13:40～13:50	休憩		
	13:50～15:10	NICU における母乳育児	山口 直人	川崎市北部地域療育センター センター長 神奈川県立こども医療センター新生児科
	15:10～15:20	質疑応答		
2/4 (木)	9:30～10:50	低出生体重児のスキンケア	保刈伸代	東邦大学医療センター大森病院 看護部 皮膚・排泄ケア 認定看護師
	10:50～11:00	質疑応答		
	11:00～11:10	休憩		
	11:10～12:30	新生児の呼吸障害と管理の実際	長谷川久弥	東京女子医科大学附属足立医療センター 新生児科 特任教授
	12:30～12:40	質疑応答		
	12:40～13:30	昼食		
	13:30～14:50	NICU における心理サポートグループ ケア	鈴木佳子	愛仁会 高槻病院 心理室 主任
	14:50～15:00	質疑応答		
	15:00～15:10	休憩		
	15:10～16:30	NICU の災害対策	伊藤友弥	あいち小児保健医療総合センター小児 救命救急センター 副センター長救急 科医長
	16:30～16:40	質疑応答		
2/5 (金)	9:30～10:15	グループワーク		
	10:15～10:25	WEB 受講生切替		
	10:25～11:45	NICU 退院児の在宅移行支援（予定）	鈴木満喜子 （予定）	都立墨東病院 NICU 入院時支援コーディネーター
	11:45～11:55	質疑応答		
	11:55～12:45	昼食		
	12:45～14:05	NICU における感染制御 ～予防と発生の対応～	坂木晴世	国際医療福祉大学大学院 看護学分野 教授
	14:05～14:15	質疑応答		
	14:15～14:25	休憩		
	14:25～15:45	新生児の循環障害と管理の実際	豊島勝昭	神奈川県立こども医療センター 周産期医療センター長（新生児科部長）
	15:45～15:55	質疑応答		